

給排水衛生設備・空気調和設備工事特記仕様書

1 工事概要

1 工事名称	南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事
2 工事場所	建築図参照
3 建物概要	建物名称 建築図参照 消防法 建築図参照 主要構造 木造 地下 階 地上 2階 延べ面積 建築図参照 m <sup>2</sup>
4 竣工期日	令和 年 月 日

5 工事種別

	工事種別	屋内	屋外
● 空調設備	○空調機器設備	一式	一式
	●燃料供給設備	一式	一式
	○配管設備	一式	一式
	○ダクト設備	一式	一式
	○換気設備	一式	一式
	●機械排煙設備	一式	一式
	○自動制御設備	一式	一式
	○床暖房設備	一式	一式
	●撤去工事	一式	一式
	● 給排水衛生設備	○衛生器具設備	一式
○給水設備		一式	一式
○給湯設備		一式	一式
○ガス設備		一式	一式
○消火設備		一式	一式
●排水処理設備		一式	一式
○厨排設備		一式	一式
●さく井設備		一式	一式
●融雪設備		一式	一式
●ろ過設備		一式	一式
●撤去工事	一式	一式	

2 工事仕様

1) 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（機械設備工編）』最新版による。

○空気調和衛生工学会規格（HASS 010）『空気調和衛生設備工事標準仕様書』による。

●社団法人日本建築家協会監修の（以下「共通仕様書」という）、『機械設備工事共通仕様書（最新版）』による。

○耐震設計・施工については国土交通省国土技術政策総合研究所建築設備耐震設計・施工指針最新版による。

2) 特記仕様

特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。但し○印がある場合は、これを適用する。

項目	特記事項
● 設計図の最先順位	1. 現場説明書、質疑回答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図 4. 共通仕様書
● 現場代理人の資格	次の資格を有する者で経歴書及び会社組織表を提出し、監理者の承諾を受けた者とする。 ○管工事施工管理技士（○1級 ・ ○2級） ●建築設備士
● 敷地状況の確認	着工に先立ち地下に埋設された電気ケーブル、給排水ガス管、仮設物などを関係機関の協力を得て確認し報告すると共に、事故を未然に防ぐよう留意すること。
● 機器及び材料	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は発注前に監理者の指示に従い「使用予定機材一覧表」を提出して監理者の承諾を受ける。
● 機器仕様	図中の特記事項を除きすべて ●標準仕様による。 ●メーカー標準仕様による。
● 下請負業者	下請負業者の決定については、工事着手前に下請負人通知書を出して監理者の承諾を受ける。
● 技能士の適用	○配管施工（建築配管作業） ○熱絶縁施工 ○ダクト施工 ●冷凍空調機器施工
● 機材等の検査、試験	工場検査及び工場試験を行う機材材料は、共通仕様書による他、次記項目とする。引渡しに要する費用は、すべて請負者の負担とする。
● 監理者事務所	● 設ける ○ 設けない
● 工事用電力、水、その他	工事用及び試験用電力、用水、排水、その他の工事に必要な諸官庁へ手続き、施工に要する費用及び使用料金は、○すべて請負者の負担とする。 ● 別途とする。
● 残土処分	○構外搬出適切処理 ●構内指示場所に敷きならし ●構内指示場所に堆積
● 発生材の処理	引渡しを要するもの ○なし ●あり（ ） 引渡しを要しない物はすべて構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
● 埋戻し土、盛り土	○埋戻し中の良質土 ○山砂 ●
● 工事報告	○月報 ●旬報 ●週報 ●日報 ○打合せ記録を提出する。
● 耐震措置	地域係数 ● 1.0 ● 1.5 設計用標準震度（防振機器は※印とする） 最上階、屋上及び塔屋 ○ 1.5 ● 2.0 2階床以上 ○ 1.0 ● 1.5 地盤及び1階 ○ 1.0
● 試算	機械については施工図に基き、請負者において静圧・揚程・騒音・振動・耐震度などを計算し、監理者の承認を得て施工する。
● 試作	次記の機器については試作を行い費用は請負者の負担とする。
● 説明板	監理者と協議の上、次記の設備機器類及び一通の装置などの取扱い要領及び重要な定期点検項目を記した説明板を作成し、指示する場所に取り付ける。
● 試運転調整データ	次記の項目について監理者の指示する場所の測定データを提出する。 ●振動 ●水量 ●水圧 ●風量 ○温度 ●水質検査記録書 ○無窓居室等の換気風量 ○火気使用室の換気風量 ●排煙風量（自然排煙を除く） ●防火ダンパー等設備試験結果記録 ○シック換気風量

● 完成図書

提出書類	建築主	設計者
a. 完成図（A1版）	1部	1部
b. A3縮小図（現場監理用）、完成図（A3版）	各2部	各2部
c. 施工図（製本）	1部	1部
d. 上記データ（JW-CAD）	1部	2部
e. 工事写真一式	1部	1部
f. 完成写真（データ共）	1部	1部
g. 主要機器資料（図面・取扱い説明書・試運転性能記録）	2部	1部
h. 完成装置の試運転調整記録	1部	1部
i. 主要機材納入業者一覧表（メーカー・代理店・担当者名・電話番号）	1部	2部
j. 公官署などの許認可書類	1部	1部
k. 完成装置の取扱い説明書	1部	1部
l. 非常連絡先一覧（請負者・メーカー・諸官庁）	1部	1部

● 他工事との取合い

他工事との取合い	建築	電気	機械
機器の基礎（屋上基礎を除く）	○	○	○
梁、床、壁、貫通部の木枠、スリーブ入れ	○	○	○
梁、壁、貫通部の補強	○	○	○
天井、壁ボード類の地下補強	○	○	○
外壁取付けガラリ、ドアガラリ	○	○	○
マンホール蓋（床下水槽、ピット用）	○	○	○
ステンレス流し台（厨房を除く）	○	○	○
天井、梁、床、点検口	○	○	○
機器付属制御盤以降の配管配線	○	○	○
上記への電源供給、操作回路の渡り配管配線	○	○	○

● 監理用図面

● 公官署への手続

● 設備概要

設備	概要
● 熱源設備	●温水ボイラー（●鋼板製 ●鉄板製 ●真空式） ●開放式） ●高気圧ボイラー（●精鉄製 ●真流式 ●炉内燃焼式） ●冷凍機（●往復動式 ●吸収式 ●スクリーン式 ●遠心式） ●水冷水式 ●空冷式 ●ヒートポンプ式 ●熱回収式） ●直蒸気吸収式冷水機 ●燃料種別（●ガス [ ] ●油 [ ] ● ） ●蓄熱槽（●冷水槽 m <sup>3</sup> ●冷水槽 m <sup>3</sup> ●温水槽 m <sup>3</sup> ）
● 空調方式	●全ダクト方式 ●ファンコイル方式 ●ファンコイル、ダクト併用方式 ●パッケージ方式 ●エアコン
● 換気設備	●中央式（系統名） ●全熱交換機（●あり ●なし） ●局所式
● 自動制御設備	●中央監視盤（●あり ○なし） ●自動制御機器 ○電気式 ●電子式 ●デジタル式 ●空気式
● 衛生器具設備	●大便器（●節水型洗浄弁 ●洗浄弁 ●ロータンク ●直結式） ●小便器（○節水感知型洗浄弁 ●洗浄弁 ●ハイタンク ● ）
● 給水設備	●飲料水（○市水 ●井水） ●雑用水（○市水 ●井水 ●雨水） ●給水方式（○水道直結 ●高置タンク ●圧力タンク ●加圧ポンプ）
● 排水設備	●建物内汚水、雑排水（○分流 ●合流） ●汚水放流先（○公共下水道 ●浄化槽） ●雑排水放流先（○公共下水道 ●浄化槽 ●側溝）
● 給湯設備	●中央式 ●個別式 ●ボイラー（●温水 ●高気 ●電気） ●貯湯槽（●あり ●なし） ●湯沸器（●ガス ●電気 ●灯油）
● ガス設備	●都市ガス（ [ ] ● kcal / N m <sup>3</sup> ) ●液化石油ガス（○LPG）
● 消火設備	●屋内消火栓 ●屋外消火栓 ●スプリンクラー ●泡消火（●移動式 ●固定式） ●連絡給水 ●連絡送水 ●ダクトフード簡易消火 ●特殊消火（炭酸ガス） ●水噴霧消火設備等（ ） ●消火器
● 排水処理設備	●単独処理 ●合併処理 ●ユニット型 ●現場施工型

● 空調設備

	外気		屋内			
	温度(℃)	湿度(%)	一般系統	湿度(℃)	湿度(%)	温度(℃)
夏季	34.3	57.1	26	50		
冬季	0.1	59.7	22	40		

但し、空冷ヒートポンプエアコンの能力はJISB8615温度条件による。

● 低速ダクト ● 高速ダクト（●排煙ダクト ● ）

● アングル工法 ● コーナーボルト工法 ● 共振工法 ● スライド工法）  
但し、ダクト長さ 1500 以下に適用するものとし、これを越えるものはアングル工法とする。

材 料	空調	換気	排煙	フード
亜鉛鉄板	○	○	●	●
亜鉛鉄板 スパイラル	○	○	●	●
ステンレス鋼板	●	●	●	●
銅板	●	●	●	●
ビニル被覆鉄板	●	●	●	●
硬質塩化ビニル板、管	●	●	●	●
グラスウール板	●	●	●	●
アルミフレキダクト	○	○	●	●
消音フレキダクト	○	○	●	●

註記事項 1. 排煙ダクトが上下階にわたる場合で、主排煙ダクトが防火区画されたダクトスペース外にあるときは、その部分のダクトは（厚1.6）とし、ロックウール厚 25 巻きとする。

● ダクトの保温

保温材 ○ロックウール（●1号 ●2号）  
○グラスウール（●24K ○32K ●40K）  
●A L Kグラスウール（24K）  
●排煙・厨房ダクト断熱はロックウール1号を使用すること。

給気ダクトの保温（厚さ ○25 ●50）  
排煙ダクトの保温 ●要（厚さ ●25 ●範囲） ●不要  
排気ダクトの保温 ○要（厚さ ○25 ●範囲：外壁より1m） ●不要

保温外装材	屋内隠蔽	屋内露出	屋外露出	煙道
綿布（適合ペイント）	●	●	●	●
アルミホイルペーパー	●	●	●	●
アルミガラスクロス	○	○	○	○
亜鉛鉄板（適合ペイント）	●	●	●	●
着色亜鉛鉄板	●	●	●	●
アルミニウム板	●	●	●	●
ステンレス鋼板	●	●	●	●
合成樹脂塗料カバー	●	●	●	●

● 風量測定口位置

● 図示位置 ●空調機出口チャンパの分岐ダクト ●排気ダクト  
●外気取入れダクト ●送風機吐出側ダクトまたは吸込側ダクト

● チャンパ

○内貼りを施すチャンパの表示寸法は外法を示す。  
○空調機に取付けるサブライ、リターンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパには点検口を設ける。大きさは450×450または図示による。  
○外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパ、ホッパには排水を設ける。  
○外気取入れチャンパには、防虫ネット（SUSメッシュ、容易に取り外せる構造とする）を設ける。

● 消音内貼り

消音内貼りの仕様は次記の通りとし、外部の保温は不要とする。  
1. 鋼 2. グラスウール保温板（2号 40K サブライ厚 50 リターン厚 25）  
3. グラスクロス 4. 亀甲金網（空調機に取付けるサブライ、リターンチャンパのみ）

● 吸込口、吸込口

材 質（○アルミニウム製 ●鋼板製 ●木製 ● ）  
仕上げ（○指定色 ●標準色 ●ヘアライン）

● 給排気口

給排気口の有効開口面風速と開口率  
○吸込口 室内（●1.5 ● ） m/s （●70 ● ） %  
廊下（●1.5 ● ） m/s （●70 ● ） %  
天井（○1.5 ● ） m/s （○70 ● ） %  
●外気取入口 屋外（○2.5 ● ） m/s （○30 ● ） %  
●排気ガラリ 屋外（●3.0 ● ） m/s （●30 ● ） %

閉鎖方式（●ソレノイド 瞬時通電式 ●電動式 DC24V, 0.7A 以下）

● 防煙ダンパ

● 防火ダンパ

● 煙道

材 質（●鋼板 ●ステンレス板 ● ）  
板 厚（●3.2mm ●4.5mm ● ）  
断 熱（●ロックウールブランケット 厚さ75 ● ）  
外装材 「5 ダクトの材質」の項参照

● 建築工事 ● 本工事（材質）

● 煙突

● 温度計

形式（●ブルドン管膨張式円形指示計 ● ガラス製棒状温度計）  
取付け箇所  
●冷凍機の冷水管（送り、送り）、冷却水管（送り、送り）  
●吸収冷水機の水温水管（送り、送り）、冷却水管（送り、送り）  
●ボイラーの冷水管（送り、送り）  
●空調機の冷水管（送り、送り）、3方弁設置後の冷水管（送り）  
●熱交換機（送り、送り）  
●冷水水ヘッダー（往）、及び冷水水ヘッダーの各送り管  
●空調機（パッケージ型を含む）のサブライチャンパ、リターンダクト、外気ダクト及びリターンチャンパ  
●冷却塔の冷却水管（送り、送り）  
●温風暖房機の吐出しチャンパ、リターンダクト、外気ダクト及びリターンチャンパ

取付け箇所  
●冷凍機の冷水管（送り、送り）、冷却水管（送り、送り）  
●空調機の冷水管（送り、送り）  
●吸収冷水機の水温水管（送り、送り）、冷却水管（送り、送り）  
●熱交換機（送り、送り）  
●ポンプ（吸込、吐出）

● 網間流量計

方式（●ピトー管式 ●面積式）  
取付け箇所  
●冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り又は送り）に、（●流量計 ●タッピング）を設ける  
●吸収冷水機の水温水管及び冷却水管（送り又は送り）に、（●流量計 ●タッピング）を設ける  
●空調機の冷水管（送り又は送り）に、（●流量計 ●タッピング）を設ける  
●冷水水ヘッダーの各送り管に（●流量計 ●タッピング）を設ける

● 防振支持

振動機器には次記の防振材を使用する。  
○防振ゴム ●金属バネ ●バネ併用防振ゴム ○防振パッド  
●配管防振支持帯留（ ）  
各機器は中央監視設備用外部接続を制御盤内に設けること。

● 機器付属制御盤

全ダクト方式、ダクト併用方式では、自動火災報知設備と連動して空調機の運転を停止する。（局所的なものを除く）

● 騒音

室内の許容騒音値は次表による。

用 途	許 容 騒 音 値
事務室系	N C ○40 ● ● 以下
会議室系	N C ○30 ● ● 以下

● エアフィルタの予備品

●空調機には、全機の（ ）%の予備エアフィルタ（特付）を納める。  
●ファンコイルには、全機の（ ）%の予備エアフィルタを納める。

● ダクト

種別（○低速ダクト ●高速ダクト [ ]）  
次記の部分は1番手厚いものを使用する。  
●厨房排気ダクト ●湯沸室排気ダクト ●  
工法は空調ダクトに準ずる。

● 多湿箇所ダクト

次記の部分はダクトの継目、継手を外面よりはんだ付け、またはシールを施す。  
○厨房 ○浴室 ●湯沸室

● 風量測定口位置

● 図示位置 ●送風機吐出側ダクトまたは吸込側ダクト  
●外気取入れダクト

● チャンパ等

チャンパ、防煙ダンパ、防火ダンパは、空調機と設備の該当項目による。  
下記のダクトの保温を行う。  
○全熱交換機用の外気ダクト（保温の厚さ2.5mm）  
○外壁面接続から約1mのダクトは保温（2.5mm）を要する。

● 保温

○ 1 ダクト

○ 2 排煙口の形式

○ 3 排煙口開放装置

○ 4 排煙風量測定

○ 5 点検スペース

空調ダクトの項参照

天井取付け（●スリット型 ●スイング型）  
壁取付け（●スリット型 ● ）

●手動 ●手動及び遠隔操作可能なもの

建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

排煙機周囲に点検スペース0.6mを確保する。

○ 1 計装工事

○ 2 調整

○ 3 検査

電気関連工事は標準仕様書、電気設備技術基準、内線規定等に基づき施工する。

●機器単体の動作調整、電動弁のリフト・ダンパモーターのアーム調整、各種調節器のキャリブレーションなどを行う。  
●自動・手動・夏冬切替スイッチの調整、系統別の機器動作の調整を行う。  
●各種調節器の設定・比例帯・動作時間・オンスリテリの決定、微分・積分動作などの微調整を行う。  
●各種管理機器の指示・指示記録の調整及び校正を行う。  
●ランニングテストを行いデータを採取の上報告書を作成、提出する。

●係員立ち会いの上、データを基にしたランニングテストを行う。

給 排 水 衛 生 設 備

● 1 便器洗浄タンク

● 2 衛生陶器の色

● 3 化粧鏡

● 4 和便器耐火カバー

● 5 散水栓ボックス

● 6 洗面器

○防臭型 ●一般型

○標準色 ●特注色（ ）

○建築工事 ●本工事（ ）

防火区画貫通部に和便器耐火カバーを設ける。（財）日本建築センター評定済工法）

水栓配管（25AVP・・・最寄排水溝へ接続）

○止水栓付き

● 1 給水源

● 2 引込み納付金

● 3 量水器

● 4 給水タンク

● 5 防振支持

● 6 地中埋設機

● 7 防凍保温

● 8 湯き水処理

○上水道（引き込み管径 30mm） ●井水（雑用水、融雪）

○工事費（●別途工事 ○本工事） ○加入金（●別途工事 ○本工事）

親メーター（○貸与品 ●買取り） 子メーター（●貸与品 ●買取り）

給水タンクは6面点検スペースを確保する。（上部1m以上、その他0.6m以上）

ポンプ、排水管は空気調和設備の該当項目を適用する。

●要（●図示位置 ●カ所） ●不要

屋外露出管（弁類を含む）は防凍保温を ○行う ●行わない、  
●要 ●不要

● 1 洗面器等の排水管

● 2 排水試験継手

● 3 試験

● 4 湯き水処理

洗面器及び洗面器に直結する排水管はトラップより1サイズアップとする。  
●図示箇所に取り付け ●立て管の各階毎に取り付け  
衛生器具などの取付け完了後に行う試験は燃焼試験又は通水試験とする。  
○要（●別途工事 ○本工事） ●不要  
●要 ●不要

● 1 絶縁継手

● 2 ガス湯沸器

異種管、金属の接続には絶縁継手を用いる。  
湯沸器と給水管の接続にはステンレス製フレキチューブを使用しても良い。

● 1 都市ガス

● 2 液化石油ガス

● 3 暖気遮断弁

● 4 湯き水処理

ガスメーターは供給事業者により借用とする。但し、子メーターは買取りとする。  
引き込み負担金 ●要（●別途工事 ●本工事） ●不要  
○LPGタンク 50kg × 1基本 × 2組 調整器（ ●自動切替 ● ）  
ガスメーター（●買取り ○貸与品）  
ガス容器（●買取り ○貸与品）  
容器収納庫（●本工事 ●建築工事 ●別途工事）  
転倒防止鎖（○本工事 ●別途工事）  
○要（○手動 ●運動） ●不要  
●要 ●不要

● 1 水 源

● 2 保 温

● 3 消 火 器

●本工事 ●建築工事 ●既存利用  
構造（●コンクリート製 ●鋼板製） 有効貯水量 1.5 m<sup>3</sup>  
機器、配管の保温は ●要 ●不要 とする。  
屋外露出管（弁類を含む）は防凍保温を ●行う ●行わない、  
○本工事 ●別途工事

○ 1 処理方式

○ 2 処理能力

○ 3 処理水質

単独処理（●分層ばっ気方式 ●分層接触ばっ気方式）  
合併処理（●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転接触方式）

処理対象人員 人  
処理水量 m<sup>3</sup>/日<sup>2</sup>

BOD ppm SS ppm

○ 1 工 法

○ 2 口径、深度、水量

○ 3 ストレーナ

○ 4 提出書類

●パーカッション式 ●ロータリー式 ●エアハンマー式

ケーシング口径 A 堀削深度 m 予定掘水量 m<sup>3</sup>/h<sup>3</sup>

●スリット型 ●巻線型

地質柱状図、電気探層図、ケーシングプログラム、ストレーナ構造図  
掘削試験成績表、水質試験成績表、工事写真、地質標準本（別冊にて1冊）

○ 1 方 式

○ 2 工事範囲

●井水取水式 ●温水パイプ式 ●電熱式 ●  
（ 図示 ）

○ 1 用 途

○ 2 進 材

○ 3 ろ過機

●浴槽 ●プール ●池 ●飲料 ●雑水

●砂 ●カートリッジ式 ●多孔質含気泡性セラミック ●塩素酸化式

内面処理（●ゴムライニング ●エポキシ樹脂塗装 ● FRP ）  
逆洗方法（●手動 ●自動）  
操作弁（●鉛金 ●樹脂 ●四方弁 ●電動弁） ●ろ過機付属品  
操作室（●自動逆洗 ●水位制御 ●温度制御 ● ） ●ろ過機付属品

○ 1 機器寸法

○ 2 機器材質板厚

○ 3 転倒防止措置

図示の機器寸法は概略寸法であり、施工図、制作図により係員の承諾を得た上で制作にかかる。なお、附属の給水管はライニング鋼管とする。

メーカー規格品に付いてはメーカー標準仕様とする。  
●流し水槽、作業台甲板（●SUS430 ●SUS304 ●1.0 ●1.2 ● ）  
●欄 板（●SUS430 ●SUS304 ●1.0 ●1.2 ● ）

燃焼機器、及び高さ1.5mを超える機器は床または壁に堅固に取り付ける。

1 配管材料 ○印の付いたものを適用する。但し、●印がある場合はこれを優先する。又、◎印は通用しない。(以下共通)

管種	規格・記号	冷温水	冷却水	油	蒸気	冷媒	ドレン	給水	給湯	汚水	雑排水	通気	ガス	消火	エア	消雪
配管用炭素鋼管	JISG3452 SGP(国)															
配管用炭素鋼管	JISG3452 SGP(国)															
圧力配管用炭素鋼管 (Sch40)	JISG3454 STPG															
一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448 SUS 304TPD															
水道用ステンレス鋼管	JWWAG115 SSP SU3304															
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWAK116 SGVA VLP															
両面硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP011 SGPVD WVLP															
外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP041 SGPVS															
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管																
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWAK132 SGPPB PLP															
両面ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGPPD WPLP															
外面ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGPPS															
鋼及び鋼合金継目無し管 (・K・L・M)	JISH3300 CUP															
被覆鋼管 (・K・L・M)	JISH3300															
保温付き被覆鋼管 (・K・L・M)	JISH3300															
排水用鉄管	HASS210 CIP															
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP042 DVL															
排水用ターレエポキシ塗装鋼管	WSP032 TEP															
排水通気用鉛管	HASS203 LP															
ポリエチレン被覆鋼管 (1層)	JISG3469 PLS															
ポリエチレン被覆鋼管 (2層)	JISG3469 PLP															
硬質ポリ塩化ビニル管	JISK6741 VP															
水道用硬質塩化ビニル管	JISK6742 VP(W)															
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWAK118 H1VP															
耐熱性硬質塩化ビニル管	JISK6776 HTVP															
水道用ポリエチレン管	JISK6762 PP															
遠心力鉄筋コンクリート管	JISA5303 HP															
塩化ビニル被覆鋼管	PLV															
保温付きポリブテン管 (サヤ管工法)																
硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管																
ACドレンパイプ																

2 弁類

呼称	使用区分	規格		冷温水	冷却水	油	蒸気	冷媒	ドレン	給水	給湯	汚水	雑排水	通気	ガス	消火	エア	
		番号	材質・種類															
仕切弁	50A以下	JISB2011 JISB2052	青銅 可鍛鉄															
	65A以上	JISB2031.44 JISB2083	鉄鋼 鋼															
玉形弁	50A以下	JISB2011 JISB2051	青銅 可鍛鉄															
	65A以上	JISB2031 JISB2071	鉄鋼 鋼															
逆止弁	50A以下	JISB2011 JISB2053	青銅 可鍛鉄															
	65A以上	JISB2041 JISB2084	鉄鋼 鋼															
バタフライ弁	65A以上	SAS358	ゴムシート ステンレス鋼															
ボール弁	50A以下	SAS358	青銅 ステンレス鋼															
	65A以上	SAS358	鉄鋼 ステンレス鋼															
コック	50A以下	JISB2191	青銅															
圧力による使用区分			JIS-5K JIS-10K															

3 保温・防食仕様

保温・防食主材	規格	機器類		管類														
		煙	タンク	管	冷温水	冷却水	油	蒸気	冷媒	ドレン	給水	給湯	汚水	雑排水	通気	ガス	消火	
グラスウール	2.4K	JISA9509																
グラスウール	3.2K	JISA9509																
グラスウール	4.0K	JISA9509																
ALKグラスウール	2.4K																	
ロックウール	1号	JISA9504																
ロックウール	2号	JISA9504																
ポリスチレンフォーム		JISA9511																
けい酸カルシウム		JISA9510																
はっ水性パライト		JISA9512																
ポリエチレンフォーム	2種	JISA9515																
ペトロラタム系テープ		JISZ1902																
防水麻布																		
防食ビニルテープ		JISZ1901																

4 保温外装材

材料	機器類		管類				
	機械室内	屋外露出	屋内隠蔽	暗室内	屋内露出	屋外露出	
綿布 (顔合ペイント)							
アルミホイルベーパー							
アルミガラスクロス							
亜鉛鉄板 (顔合ペイント)	○						
着色亜鉛鉄板							
アルミニウム板							
ステンレス鋼板		○					
合成樹脂製カバー							
防水麻布							
アスファルトジュート							
フィンカバー							

5 屋外塗装仕上げ (機器仕上げは、機器表による)

使用場所	塗装仕上げ	
鉄部	○溶融亜鉛鍍金	合成樹脂塗合
亜鉛鍍金部	○合成樹脂塗合	鉛酸カルシウム錆止め
浸水部	○ターレエポキシ樹脂	アスファルトペイント
塩害部	○亜鉛鍍金用塩化ゴム製ブライマ	エポキシ樹脂

6 註記事項 (表1~表5)

※1	地中埋設	
※2	ビット内	
※3	床下転がし	
※4	コンクリート内 (厨房)	
※5	屋外地中100A以上はVUとする	
※6	土間配管	
※7	厨房機器高温排水管	
※8		
※9		

7 特記事項

① 配管	<p>○管の地中埋設深さは、車両道路750mm以上、それ以外は450mm以上とする。また、寒冷地は凍結深度以上とする。</p> <p>○防火区画を貫通する管は、その隙間をモルタルまたはロックウール保温材で埋める。</p> <p>○外壁地中部分など水密を要する部分のスリーブは、ツバ付き鋼管とし管とスリーブとの隙間をシーリング材によりシーリングし、水密を保つ。</p> <p>○塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ネジ接合を行う場合は継手は、管端防食継手とする。</p> <p>○ステンレス鋼管接合法は ( 圧縮式 プレス式 ) とする。ただし、75SU 以上は溶接接合とする。</p> <p>○鋼管のうち、排水通気を除く水配管は、原則として呼び径80A以下はねじ接合、100A以上はフランジ接合または溶接接合とする。</p> <p>○溶接接合に係わる溶接工については、十分な技量と経験を有したもので監督員が認めたとする。</p> <p>○給水、給湯、開放系の冷温水、冷却水配管系で、異種金属の接続がある場合は、絶縁継手を使用する。(鋼とステンレス、鋼と銅)</p> <p>○土間埋設配管はスラブより支持をとる。支持金物はステンレス製を使用する。</p> <p>○橋走り配管の振れ止め支持は100A以下 (○6m 8m)、125A以上 ( m) の間隔で、形鋼により支持する。</p> <p>○配管支持間隔は標準仕様書による。</p> <p>○都市ガス配管についてはガス事業者の規格による。</p>														
② 弁類	<p>○塩ビライニング鋼管、ポリ粉体鋼管に取り付ける鉄製弁はナイロンライニング弁とする。</p> <p>○バタフライ弁はギヤ式、ボール弁は50A以下はレバー式、65A以上はギヤ式とする。</p> <p>○防振継手の使用区分は次記の通りとする。</p> <p>ポンプ廻り ( 合成ゴム製球形フレ木 3山ケミフローベローズ )</p> <p>機器廻り ( 合成ゴム製球形フレ木 3山ケミフローベローズ )</p> <p>ポンプ廻りの弁類はJIS-10Kを使用する。</p> <p>○給水設備で水道直結部分の弁類はJIS-10Kを使用する。</p>														
③ 保温・防食	<p>○保温材厚さ、補助材、施工順序は標準仕様書による。</p> <p>○保温不要の配管、弁類、機器は標準仕様書による。</p> <p>○機器のうち、メーカーで保温、保冷を行うものはメーカー標準使用とする。</p> <p>○冷水、冷温水配管の支持部は合成樹脂製の支持受けを使用する。</p> <p>○屋外露出配管の防凍保温厚さは次記の通りとする。</p> <p>呼び径25A以下 (○40 50 )</p> <p>呼び径32A以下 (○40 50 )</p> <p>○給湯管で壁または床埋設をする場合は、被覆鋼管、保温付き被覆鋼管を使用してもよい。</p> <p>○コンクリート埋設の鉛管は防食ビニルテープを重ね1回巻きとする。</p>														
④ 騒音対策	<p>○当該地域の騒音規制法による基準をクリアする事。施工者は設計に基づく消音対策を総合的に検証し敷地境界線上の測定点を監視者と協議のうえ定め、騒音測定を行いデータを提供する事。</p>														
⑤ その他	<p>○土中埋設する鋼管類が躯体を貫通する場合、スリーブと管との空隙は電氣的絶縁性のあるシーリング材によりシーリングを行う。</p> <p>○冷媒配管の防火区画貫通部分の処理は、国土交通省大臣認定工法による。</p>														
⑥ 註記事項	<p>階数3以上の建築物で、排水・通気管に硬質塩化ビニル管を使用する場合下記に基いて施工する。</p> <p>1. 防火区画 (防火上主要な間仕切り) の貫通部前後1m以上を耐火構造とする。</p> <p>2. 最上層より数えた階数が4以内の際は1時間耐火構造、同5階以上の際は2時間耐火構造とする。</p> <p>3. 該当管の寸法は下表の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">耐火時間</th> <th colspan="2">V P 管 の 状 態</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>径 寸</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1時間耐火</td> <td>75A以下</td> <td>100A</td> <td>100Aを超えるものは金属管</td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td>50A以下</td> <td>75A</td> <td>75Aを超えるものは金属管</td> </tr> </tbody> </table>	耐火時間	V P 管 の 状 態		備 考	径 寸	厚 さ	1時間耐火	75A以下	100A	100Aを超えるものは金属管	2時間耐火	50A以下	75A	75Aを超えるものは金属管
耐火時間	V P 管 の 状 態		備 考												
	径 寸	厚 さ													
1時間耐火	75A以下	100A	100Aを超えるものは金属管												
2時間耐火	50A以下	75A	75Aを超えるものは金属管												

8 設備機材製造業者指定一覧表

1	設備機材及び工法 (以下「機材」という)並びにこれらの製造業者及び施工業者 (以下「製造業者等」という) は特記によるもののほか、本表の機材、製造業者等または同等品以上のものを使用する。
2	同等品以上とは、次の各号の条件に適合したもので、監督員の承認を得た機材、製造業者等とし、当該工事に限り使用できる。 (1) 製品が専門的工事を伴う場合は、建設業の許可を有すること。 (2) 県内に実績のある本社、営業所または代理店を有すること。
3	機材は「JIS、JWWA、WSP、JCDA、HASS」等と指定されたものは省略する。
4	本表のうち、原則として同じ材料は1社に統一し、他社のものと混用しない。
5	監督員が承認した機材等は、証明となる資料 (施工図、制作図等) を工事完成まで事務所に掲示する。

9 注意事項

1	着工後速やかに現地調査・官庁打合せを行い、図面との相違が判明した場合は監督員に報告し対応を検討する。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

10 工事項目と概要

<p>給排水衛生設備・空調設備工事特記仕様書 (2)</p>	
--------------------------------	--

衛生器具表

器具名	仕様	参考型番 (TOTO)	部 屋 名	合 計	1 階			2 階			屋外
					WC	洗面	厨房・配膳スペース	WC	洗面	手洗い	
洋風便器	フラッシュタンク式、暖房便座	CFS498BK, TCF116		2	1	1					
洋風便器	フラッシュタンク式、暖房便座	CFS497BP, TCF116		1			1				
紙巻器	ペーパーホルダー	SA-483-XC		3	1	1	1				
洗面器	ベッセル式洗面器、シングル混合水栓	L710C, TLG10301J, TLDS2201J, TLC4B9, HR710		3		1		1			
病院用流し	台付シングル混合水栓	SK106#NW1, TKWC35ESA, TK18S, TL4D1U		1					1		
手洗器	壁掛(オートストップ水栓セット)	LSK870BSR#NW1		1		1					
洗濯機水栓	緊急止水機能	TW11R		1					1		
洗濯機パン	640タイプ、ABS製縦引き排水トラップ	PWP640N2W, PJ2009NW		1					1		
散水栓	カップリング式、SUS材質共	T28UNH3		3							3
腰掛便器用手すり	L型、(L=700×700)前出寸法120	T112CL10, T110D3R		1	1						
厨房用水栓	シングルレバー混合水栓 (ホース引き出し式)	L1X1L : SF-HB452SYX		4		4					

樹リスト

No	樹名称	樹サイズ	地盤	管底	樹深さ	備 考
1	塩ビ製小口径樹	200φ-100L	—	—	420	樹脂製蓋
2	塩ビ製小口径樹	200φ-100T	—	—	460	樹脂製蓋
3	塩ビ製小口径樹	200φ-100T	—	—	500	樹脂製蓋
4	塩ビ製小口径樹	200φ-100 45	—	—	560	樹脂製蓋
5	塩ビ製小口径樹	200φ-100 45	—	—	600	樹脂製蓋
6	塩ビ製小口径樹	200φ-100 T	—	—	870	樹脂製蓋
7	塩ビ製小口径樹	200φ-100 L	—	—	920	樹脂製蓋
8	公共樹	200φ	—	—	1000	既存(改修・本工事)
11	塩ビ製小口径樹	200φ-100 L	—	—	680	樹脂製蓋
12	塩ビ製小口径樹	200φ-100 L	—	—	830	樹脂製蓋

■排水配管勾配(原則)

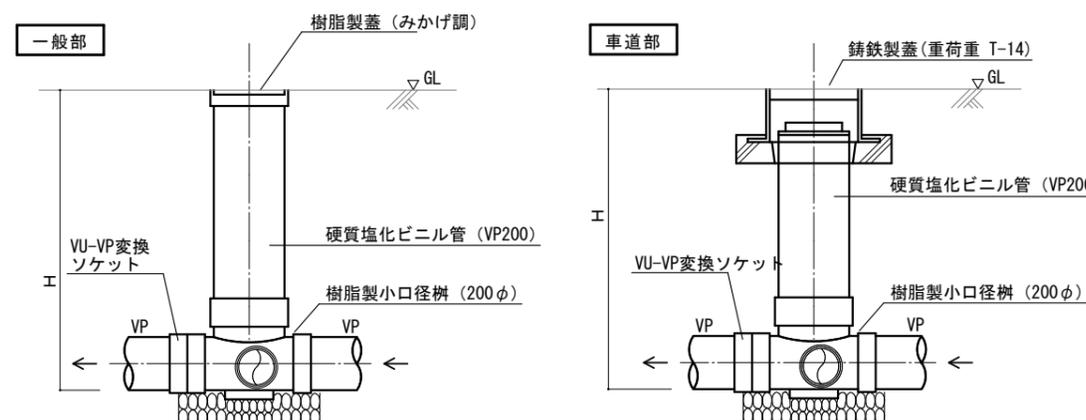
配管口径 100A	2/100
配管口径 125A	1.7/100
配管口径 150A	1.5/100

公共樹の深さ及び建築物の第一樹深さ確定後調整を行うこと  
上記勾配が確保できない場合は下水道課と協議の上施工を行うこと

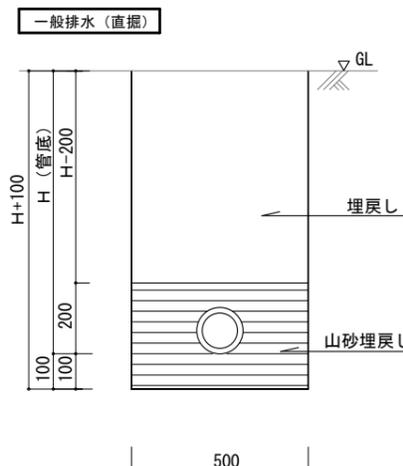
衛生機器表

機器NO	名 称	仕 様	消費電力			台数	設置場所
			φ	V	k w		
EH-1	ヒートポンプ給湯器	型式 小型業務用 2台連結 屋外設置				1組	屋外
		ヒートポンプユニット×2台					
		冬期加熱能力 7.2kw	3	200	1.80		
		圧縮機 1.3kw				×2	
		標準貯湯ユニット×2台					
		タンク容量 550L					
		付属品 リモコンスイッチ、鋼製架台(溶融亜鉛メッキ、2段積) (鋼製架台下段高さは450mm以上とする。)					
GT-1	グリーストラップ	型式 FRP製 地中埋設 配管接続型				1	屋外
		許容流入量 47L/min以上					
		阻集グリース量 7.3kg以上					
		蓋 縞鋼板(錆止め塗装) 付属品等 高さ調整枠、保護コンクリート共					

塩ビ製小口径樹(200φ)要領図(1/20)



排水管理設要領図 1/20

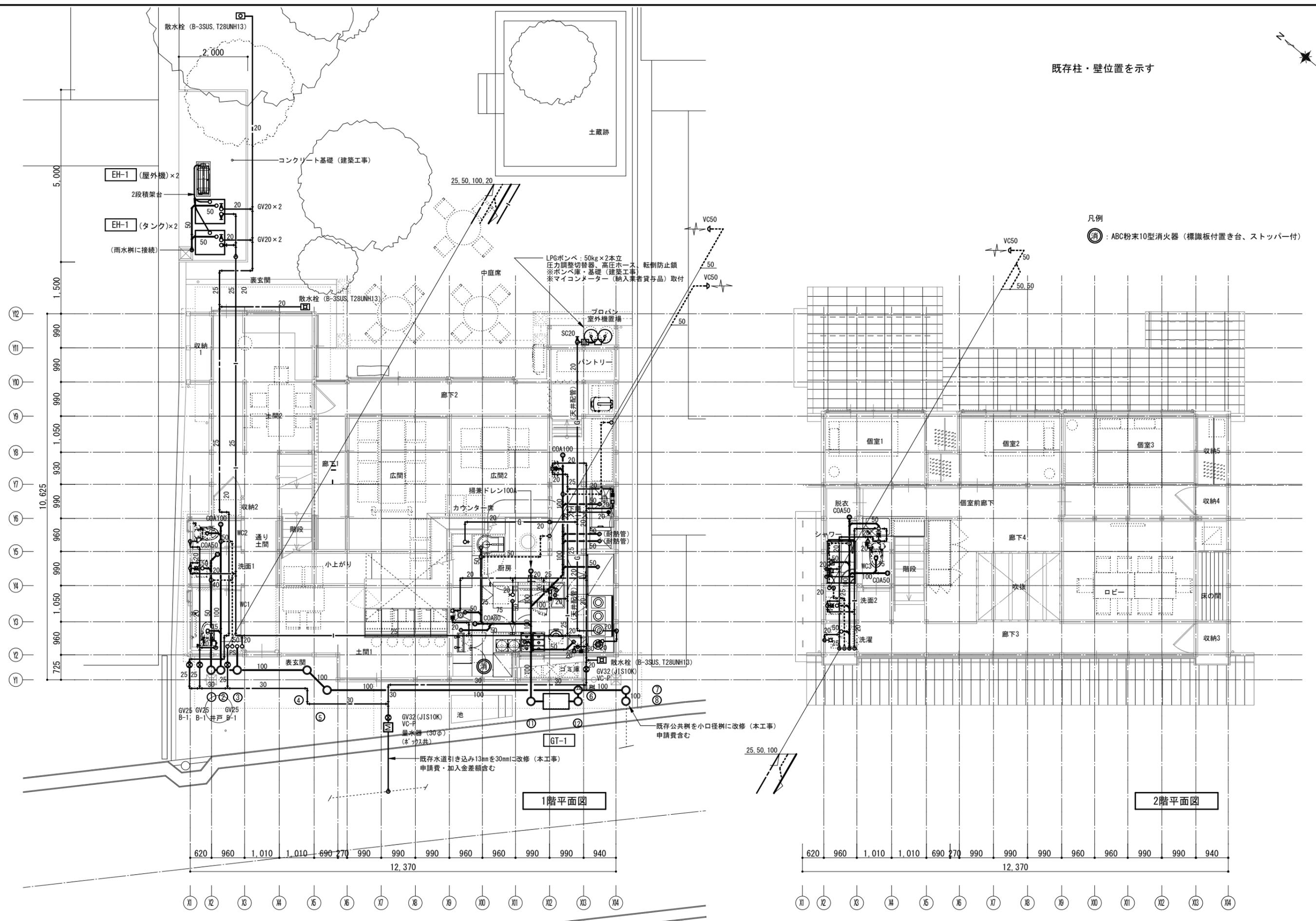




既存柱・壁位置を示す

凡例

消：ABC粉末10型消火器（標識板置き台、ストッパー付）

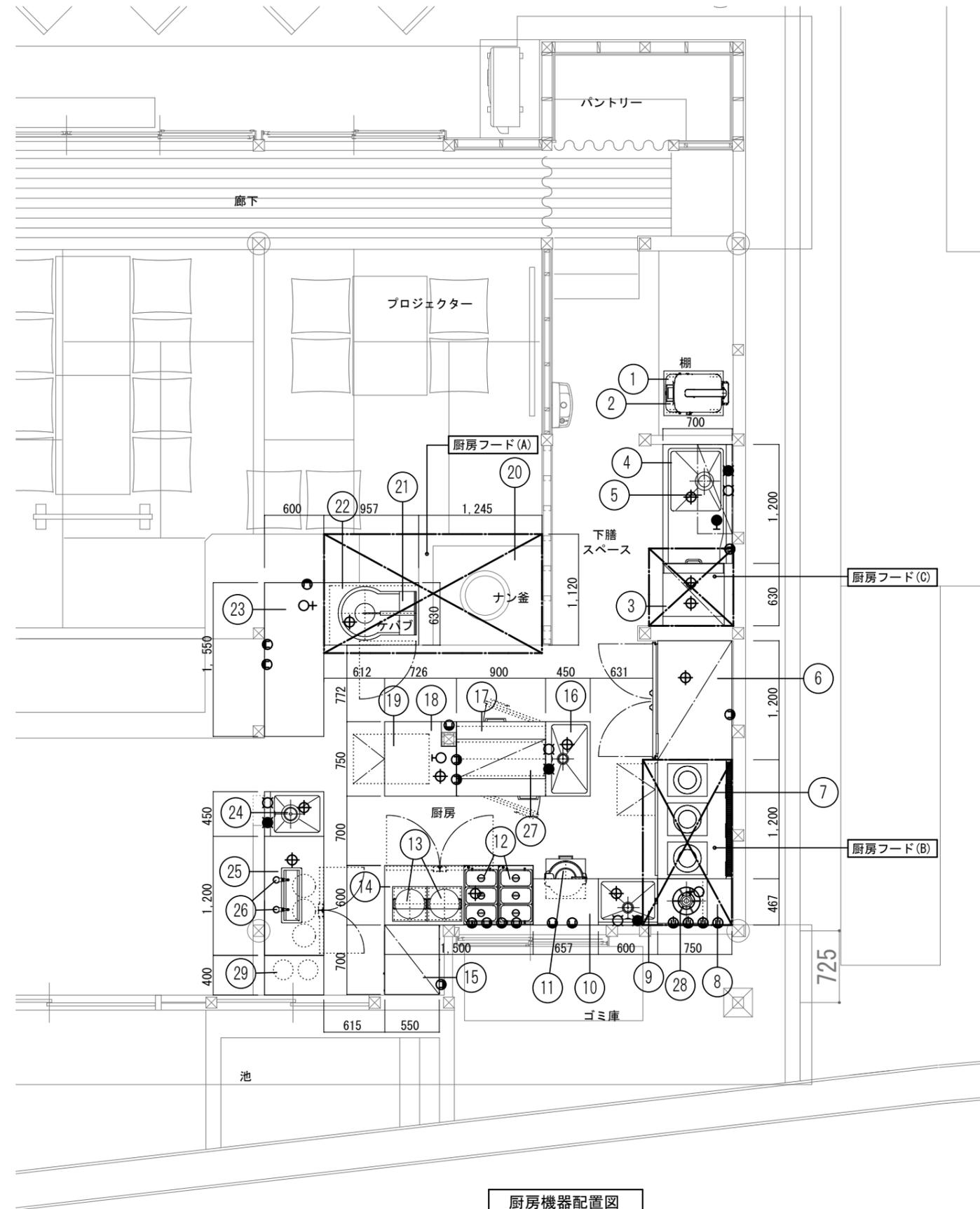


1階平面図

2階平面図



[別途工事・参考図]



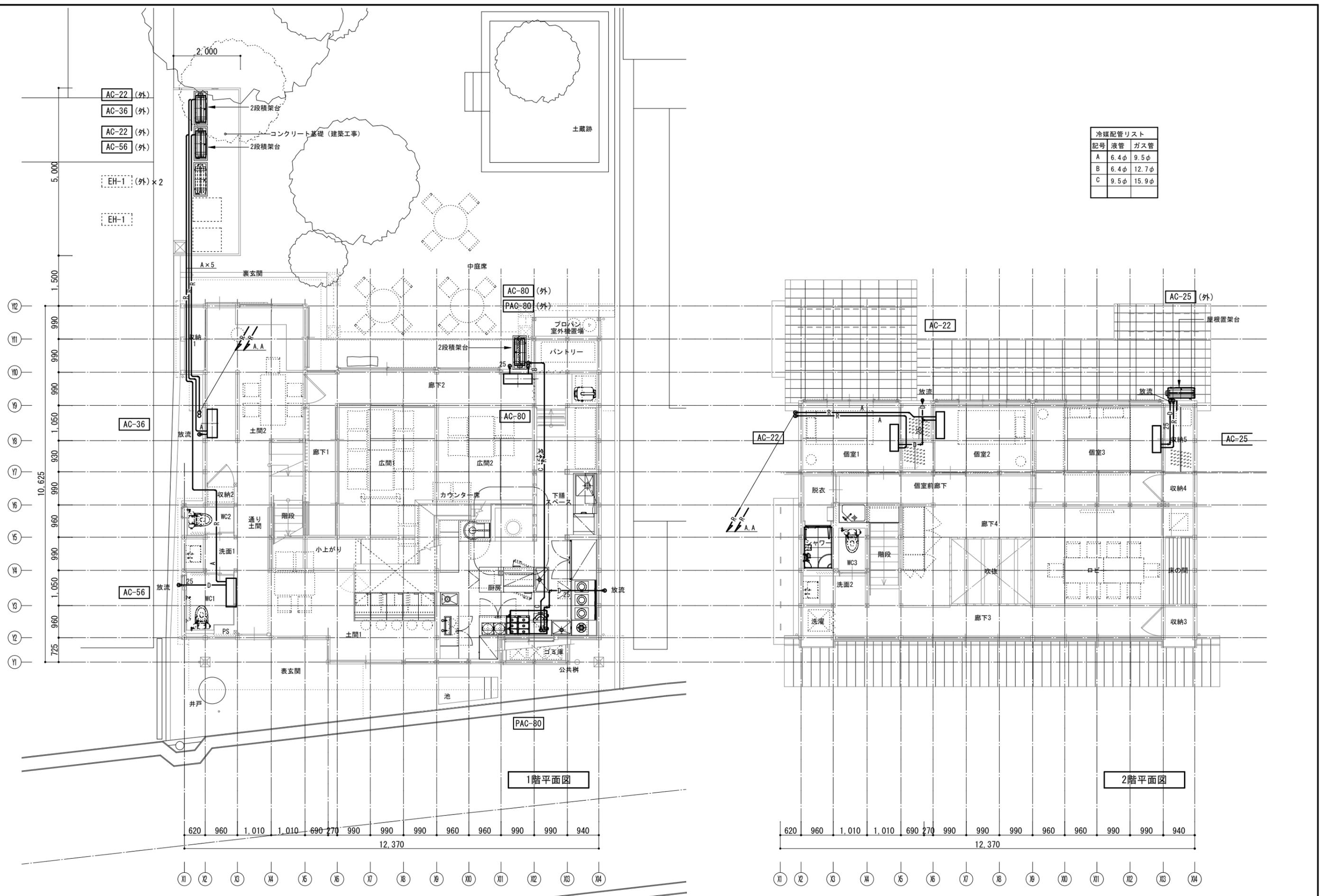
キッチン機器配置図

機器NO	名称	仕様	電源					台数	設置場所	消費電力		電源 プラグ A
			φ	V	kW					冷房 kW	暖房 kW	
					圧縮機	ファン(室内)	ファン(室外)					
AC-22	ルームエアコン	型式 壁掛型										
		能力 冷房能力 2.2kW	1	100	0.6			2	2F個室1、個室2	0.43	0.45	20
参考型番	S22ZTSXS-F (ダイキン)	暖房能力 2.5kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム										
AC-25	ルームエアコン	型式 壁掛型										
		能力 冷房能力 2.5kW	1	100	0.75			1	2F個室3	0.50	0.51	20
参考型番	S25ZTSXS-F (ダイキン)	暖房能力 2.8kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム、壁掛鋼製架台(溶融亜鉛メッキ)										
AC-36	ルームエアコン	型式 壁掛型										
		能力 冷房能力 3.6kW	1	100	0.95			1	1F客席	0.83	0.83	20
参考型番	S36ZTFXS-W (ダイキン)	暖房能力 4.2kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム、鋼製架台(溶融亜鉛メッキ、500H) ドレンアップメカ										
AC-56	ルームエアコン	型式 壁掛型										
		能力 冷房能力 5.6kW	1	200	0.92			1	1F土間	1.50	1.43	20
参考型番	S56ZTFXP-W (ダイキン)	暖房能力 6.7kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム、ドレンアップメカ										
AC-80	ルームエアコン	型式 壁掛型										
		能力 冷房能力 8.0kW	1	200	2.20			1	1F広間	2.92	2.46	20
参考型番	S71ZTFXP-W (ダイキン)	暖房能力 9.5kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム、ドレンアップメカ										
PAC-80	空冷ヒートポンプパッケージ	型式 厨房用 天吊型										
		能力 定格冷房能力 7.1kW	1	200	1.70	0.060	0.070	1	1F厨房	3.10	2.90	20
参考型番	SZRT80BJV (ダイキン)	定格暖房能力 8.0kW										
		付属品 リモコンスイッチ、防振ゴム、ドレンアップメカ										
	室外機架台	型式 2段積用鋼製架台(溶融亜鉛メッキ) 鋼製平架台(溶融亜鉛メッキ) (鋼製架台下段高さは450mm以上とする。) 屋根置き鋼製架台(溶融亜鉛メッキ)						3	各室外機置場			
								1	2階屋根			
	注記.1	参考型番は能力・形状を問うものでメーカーについては不問とする										

機器NO	名称	仕様	消費電力			台数	設置場所
			φ	V	W		
VF-1	天井扇	型式 低騒音型 サニタリー用格子タイプ 100φ 能力 50m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	9.3	2	1FWC、2FWC
VF-2	天井扇	型式 低騒音型 サニタリー用格子タイプ 100φ 能力 100m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	15.5	1	1FWC
VF-3	天井扇	型式 低騒音型 サニタリー用格子タイプ 150φ 能力 200m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	29.5	1	1F厨房
VF-4	天井扇	型式 低騒音型 居室用格子タイプ 100φ 能力 50m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	14.0	2	2F個室1、個室2
VF-5	天井扇	型式 低騒音型 居室用格子タイプ 100φ 能力 100m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	14.0	1	2F個室3
VF-6	天井扇	型式 低騒音型 居室用格子タイプ 150φ 能力 150m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	22.5	2	1F客席、土間
VF-7	天井扇	型式 低騒音型 居室用格子タイプ 150φ 能力 200m3/h × 50Pa 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	28.5	2	1F廊下、2F廊下
VF-8	パイプファン	型式 居室用 電気シャッタータイプ 150φ 能力 150m3/h 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)	1	100	5.3	1	2Fロビー
EK-1	有圧換気扇	型式 厨房用 フィルター付タイプ 300φ 能力 750m3/h 付属品 SUS製ウェザーカバー(防虫網)(指定色塗装)	1	100	67.0	1	1F厨房 フードC内設置
EK-2	有圧換気扇	型式 低騒音型 350φ 能力 1700m3/h×100Pa 付属品 SUS製ウェザーカバー(防虫網、FD付)(指定色塗装)	1	100	175.0	1	1F厨房 フードB GF内設置
EF-3	ストレートシロッコ	型式 厨房用 接続ダクト300×300 能力 2800m3/h × 200Pa 付属品 SUS製ウェザーカバー(防虫網)(指定色塗装) ファンインバーター(風量調整)、ブラボックス	3	200	1,500	1	1F厨房 SF-1と連動

機器NO	名称	仕様	消費電力			台数	設置場所
			φ	V	W		
SF-1	ストレートシロッコ	型式 消音型 300φ 能力 2800m3/h × 100Pa 付属品 SUS製ウェザーカバー(防虫網)(指定色塗装) ファンインバーター(風量調整)、ブラボックス	3	200	1,500	1	1F厨房給気 FE-3と連動
K-1	給気口	型式 角型 開閉機能付 200φ 付属品 メッシュフィルター SUS製ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装)				1	1F客席給気 2洗濯
K-2	給気口	型式 角型 フィルター付、消音形 200φ 付属品 SUS製深型ベントキャップ(防虫網)(指定色塗装) 参考 PZ-N20GM2(三菱電機)				1	2洗濯

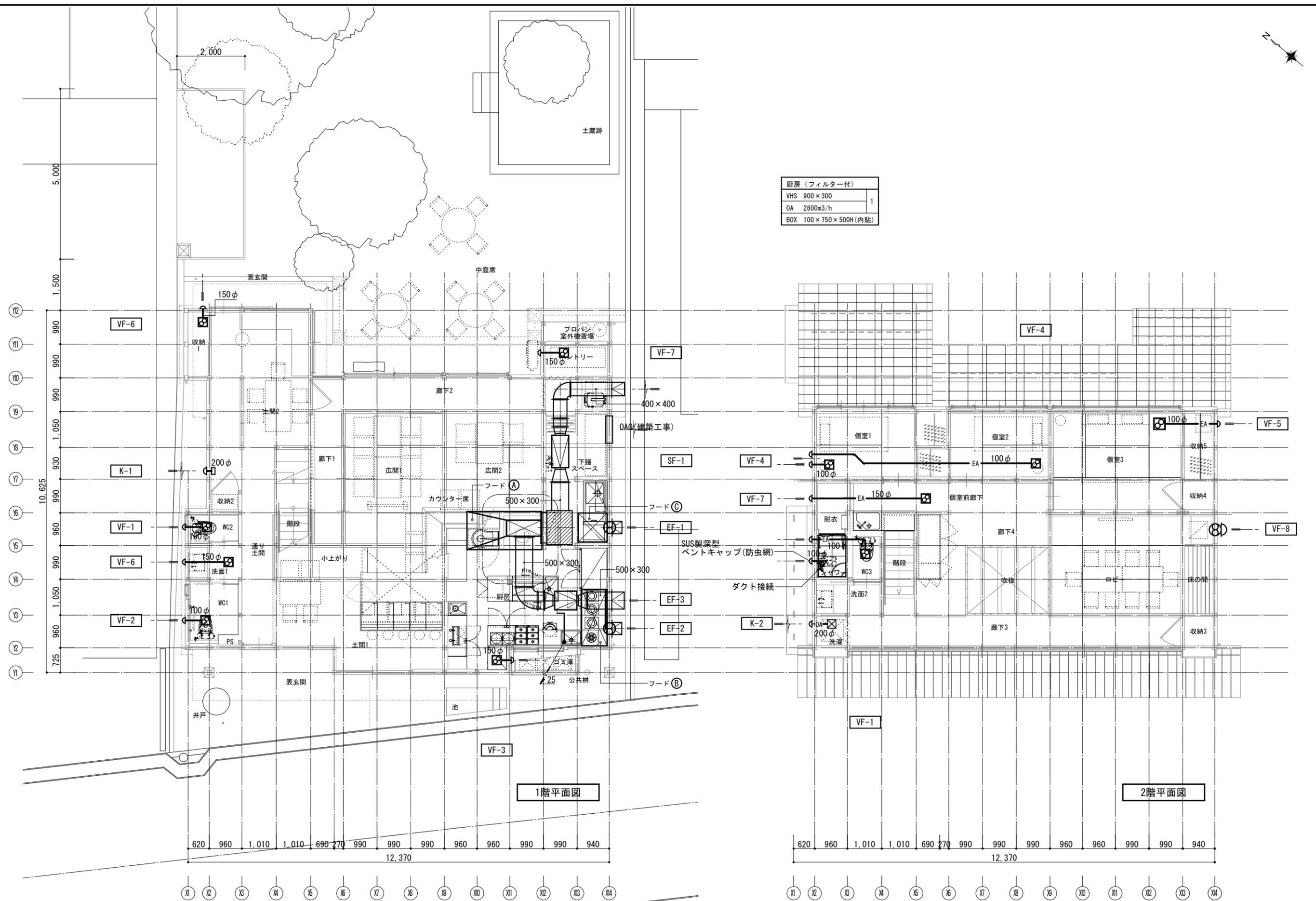




記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	6.4φ	12.7φ
C	9.5φ	15.9φ

1階平面図

2階平面図



厨房 (フィルター付)	
VHS 900×300	1
OA 2800m <sup>3</sup> /h	
BOX 100×750×500H (内貼)	

1階平面図

2階平面図